

インキュベーションラボの設置

—従来の枠組みに捉われない柔軟な組織を設置—
—イノベーションの取組みを拡大・強化—

- 九電グループは、グループ全体のイノベーションを推進し、新たな事業やサービスを生み出すためのプロジェクト「KYUDEN i-PROJECT」に取り組んでいます。これまで「イノベーション創発ワークショップ※1」、「i-Challenge※2」、「他企業との共創」（オープンイノベーション）に取り組んできた結果、多くの有望案件が得られました。

※1：九電グループのメンバーが新たな事業・サービスについてグループ横断的に議論・検討

※2：事業・サービスのアイデアを九電グループ全体から公募

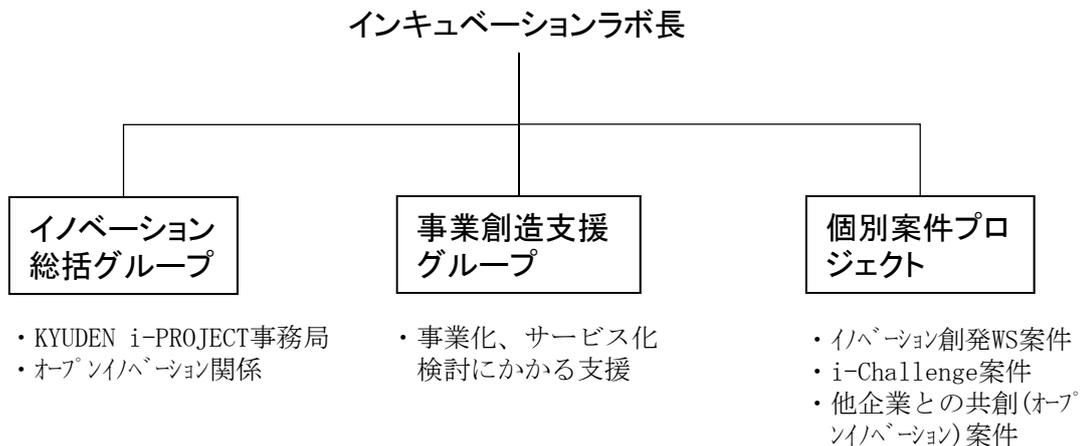
- これら個別有望案件の事業化・サービス化に向けた検討を加速させるとともに、今後もイノベーション推進の取組みを拡大・強化していくために、これまでの組織・業務運営の枠に留まらない迅速かつ柔軟な意思決定を推進する「インキュベーションラボ※3」をコーポレート戦略部門内に設置します。

※3：インキュベーションとは「卵が孵化する」の意から転じて、起業や新事業の創出を支援し、その成長を促進させること

1 インキュベーションラボの役割

- ・ 個別有望案件ごとにプロジェクトを構築し、リーンスタートアップの観点から事業化の可否をスピード感をもって検討
- ・ 個別有望案件の検討の促進・支援
- ・ KYUDEN i-PROJECTの推進

2 インキュベーションラボの組織図



以上